



# 比例650万票以上の得票で5議席確保を 参院選活動交流ニュース

No 6 2010年3月5日 日本共産党国会議員団東海ブロック事務所 名古屋市中区新栄三丁目12-27 (電話) 052-264-0833 (FAX) 052-264-0850

## 全戸訪問でお誘い 元村長、民生委員、近所の人が続々 かわえ候補の出身地の演説会に150人

2月21日にかわえ明美比例候補の出身地、岐阜県旧上之保村(現関市)で開かれた演説会は用意した80席の2倍の150人が参加、演説会後も地域で大きな話題になっています。

上之保での演説会は30数年ぶり、前回の参加者は30~40人ほどでした。地元党支部ではせっかく候補者が地元に来てくれるからと、思い切って100人規模の演説会を開くことを決めました。

関市委員会や美濃市の党員の応援をうけ、全戸を訪問して参加を呼びかけました。

元村長(現関市議)の方も「明美ちゃんくるで」と呼びかけてくれました。大須賀県議の実母も旧村生まれで、元村議の実弟も声をかけてくれました。当日は元村長、民生委員、親戚、近所の人たちも参加。かわえ候補は冒頭、「ふるさと」を歌い、「少人数で『落ちこぼれ』を生まない豊かな教育を受けました。故郷に恩返しをしたい」と訴え、感動を呼びました。

演説会の後、地元支部の党員はお礼に各戸を訪問。実家の近所の男性は、「ちょうどこの日、神社のお祭りがあったので、男連中は祭り、女子連中は向こう(演説会)に行くこと分担した。演説会に行った家内が、いままでは自民党、いろんな政治家の話聞いたけど今回くらい感激したことはなかった、涙が出たといっていた。それを聞いて僕ももらい泣きました。」

あちこちで「共産党が怖いとかいう感じは全然なかった」「自民党もだめ、民主党もだめで、ちょうどいい時期だった」との声が聞かれました。ある自治会長(元村議)は「身近に聞くといいんだね。(共産党に)悪いイメージあるからね。国会を聞いても一番いい話をするし、私は今度初めて生で(共産党の)話を聞いた。自民党の演説会に行くこともあるが中身が違う。胸が熱くなった」と話していました。

訪問では演説会を掲載した「しんぶん赤旗」の見本紙を渡し、支持を約束してくれたり、購読を検討してくれるという反応もありました。

岐阜県委員会はこの経験を全県に広げ「有権者の



過半数との対話を」と取り組んでいます。

全戸訪問に応援に入った中濃地区の党員からは、「ここは党の幹部を生み出すらしい。この水を飲んで帰ると元気が出るぞ」と話題にー。

### 業者後援会で意思統一 静岡

静岡県党業者後援会は地域代表者会議を開き、「中小業者の苦境を打開するために参院選を何としても勝利しよう」と意思統一しました。

山村県委員長が第25回党大会決定の内容を報告し、渡辺浩美選挙区候補が県内の情勢の変化を語り、参院選への決意を語りました。

発言では、「島田市で民主や自民の市議に『しんぶん赤旗』を読んでもっと勉強してほしいと話したら購読してくれた」「藤枝市立病院の医師確保の署名を病院長の許可も得て病院前で取り組み、1日で1000人近く集めた」などの発言がありました。

### 森林組合と懇談 岐阜・三重

4日、かわえ明美比例候補、鈴木まさのり選挙区候補らが岐阜県大垣市の西南濃森林組合の桐山組合長と懇談しました。組合長は「新政権は30haごとに山の集約化を考えているが、実態には合わない」「県には県産材利用の補助があるが、制度が十分に知られていない」と話しました。

三重県の中野たけし選挙区候補が懇談した伊賀森林組合の理事長は「林業が『業』として成り立たない。電気製品などの輸出のために木材輸入を受け入れてきたことが問題だ」と語りました。

### 3月のいっせい宣伝は22日(月・休)支部、後援会の「草の根総行動デー」

住宅、繁華街、スーパー前などへ、宣伝カーやハンドマイクをフル出動させ、参加支部・党員、実施ヶ所・回数、対話・党勢拡大で、最大規模の活動を展開しましょう。